

# 豊川市における

## 地域包括ケアモデル事業の取組

(地区医師会モデル)





# 豊川市はこんなところ

四季折々の  
美しい自然



佐奈川の桜と菜の花

第8回B-1グランプリの開催地  
(平成25年)



豊川いなり寿司

豊川稲荷





# 豊川市はこんなところ

スポーツの力で元気になる  
豊川リレーマラソン



豊かな歴史と伝統が息づいている



御油の松並木



# 豊川市はこんなところ

## 地区分析

- ・ 豊川市人口：185,690人
  - ・ 高齢者人口：46,348人
  - ・ 高齢化率：25.0%
- (H28.10.1現在)

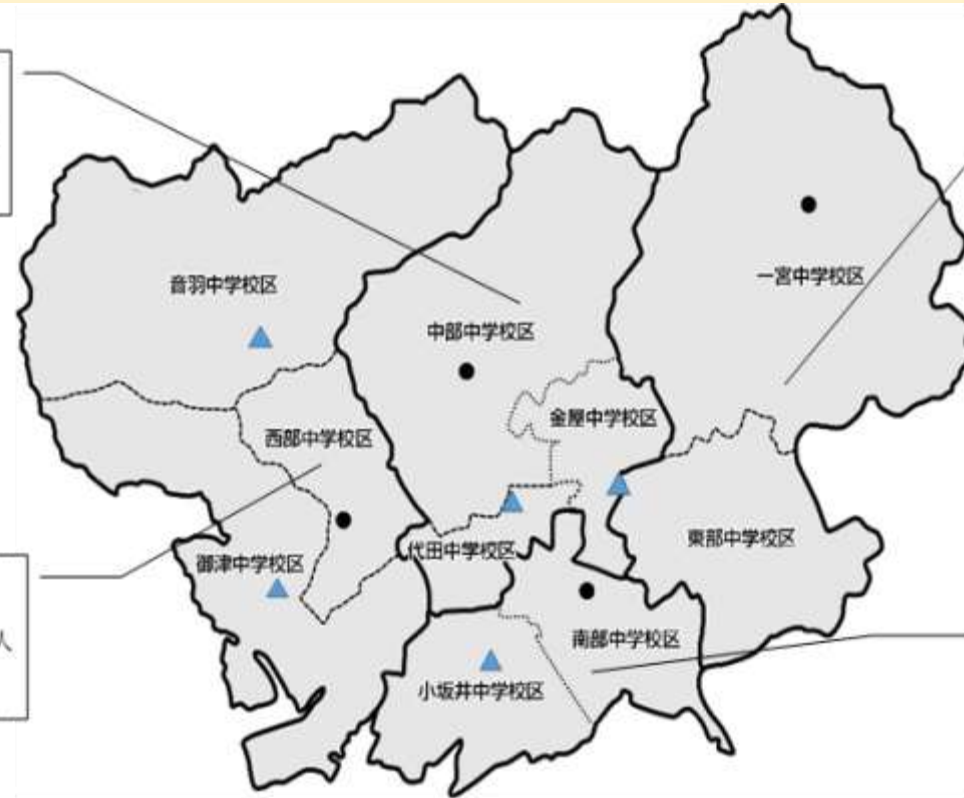
- ・ 4つの日常生活圏域
- ・ モデル事業実施地区：南部圏域  
高齢化率が最も高い26.6%

北部圏域  
・人口：48,595人  
・高齢者人口：10,573人  
・高齢化率：21.8%

東部圏域  
・人口：46,171人  
・高齢者人口：11,726人  
・高齢化率：25.4%

西部圏域  
・人口：44,085人  
・高齢者人口：11,608人  
・高齢化率：26.3%

南部圏域  
・人口：46,839人  
・高齢者人口：12,441人  
・高齢化率：26.6%



●…地域包括支援センター ▲…出張所  
東部圏域：東部地域包括支援センター、東部地域包括支援センター豊川出張所  
南部圏域：南部地域包括支援センター、南部地域包括支援センター小坂井出張所  
北部圏域：北部地域包括支援センター、北部地域包括支援センター代田出張所  
西部圏域：西部地域包括支援センター、西部地域包括支援センター音羽出張所、御津出張所

# 豊川市はこんなところ

## 地域の医療・福祉資源の把握状況

### ・WEB版地域資源マップ

(きらっと☆とよかわっ！ガイドマップ)



ここをクリックし  
欲しい情報を検索

表示された施設アイコンをクリックすると  
地図や詳細な基本情報が閲覧できる

ちなみに掲載されている

診療所・病院：85か所

歯科診療所・病院：77か所

薬局：79か所

介護サービス事業所：272か所

(特に急増：訪問看護ステーション12か所)

# 豊川市の「強み」と「弱み」

## 「強み」

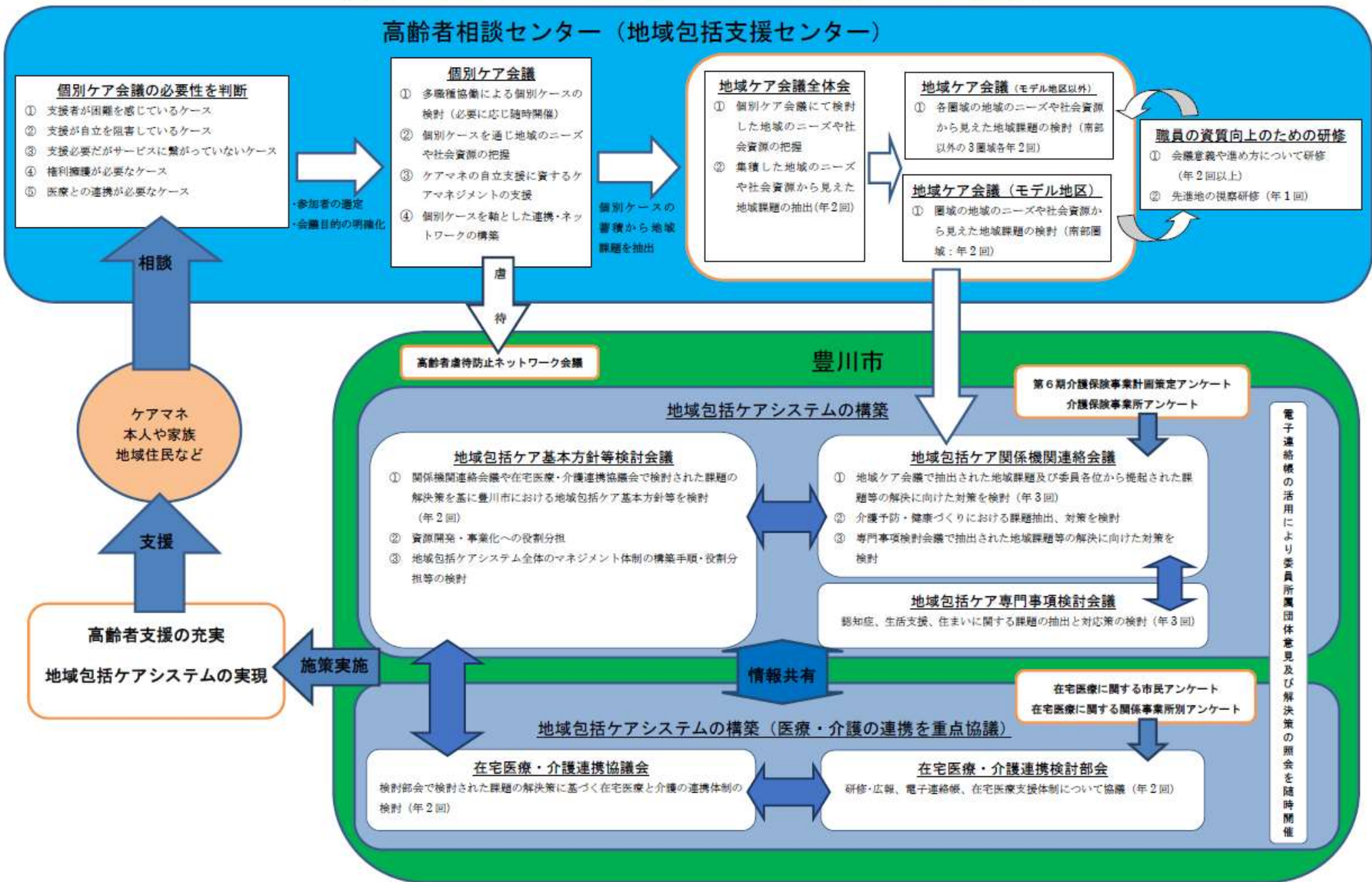
- ・ 医療分野での協力が得やすい環境がある
- ・ 介護事業者間の団結力が強く、連携が取れている

## 「弱み」

- ・ 医師の中での温度差がまだまだある
- ・ 分析、対策が不十分



# 平成 28 年度における地域包括ケアシステム構築に向けた体制図



# モデル事業3年間の取組状況

- 1 医療・介護連携に関する取組み
- 2 予防に関する取組み
- 3 生活支援に関する取組み
- 4 住まいに関する取組み
- 5 認知症に関する取組み



# 1 医療・介護連携に関する取組み

(1) 研修・広報・普及啓発の取組み

(2) ICT利活用推進の取組み

(3) 支援体制構築の取組み

# 1 医療・介護連携に関する取組み

## (1) 研修・広報・普及啓発の取組み ※特徴的な事業を抜粋

- ① 提案募集型研修の実施
- ② 市民フォーラムの実施
- ③ 戦略的普及啓発
- ④ 各種普及啓発及び啓発物の作成



# 1 医療・介護連携に関する取組み

## (1) 研修・広報・普及啓発の取組み ※特徴的な事業を抜粋

### ① 提案募集型研修の実施

#### 【本取組みの狙い・留意点など】

- ・ 「研修疲れ・やらされ感」を減らしたい
- ・ 事業を通じ、**各種団体間だけでなく、各種団体と当センター間での連携も深めたい**

# 【実績】

## H27年度

①研修名	在宅歯科医療における歯科医師会と介護保険関係事業者連絡協議会（居宅介護・介護予防支援部会）との合同研修会
開催日	平成27年10月22日（木）
開催場所	豊川市民プラザ
内容	歯科医師及び歯科衛生士による講演及びグループワーク
参加者数	99名
②研修名	レクリエーション研修会 理念と実技・応用 （施設部会と通所介護・リハ部会との合同研修会）
開催日	平成28年2月17日（水）
開催場所	小坂井生涯学習会館 集会室
内容	レクの理念の把握と応用力を身につける
参加者数	37名

## H28年度

①研修名	介護保険関係事業者連絡協議会（施設部会、訪問介護・訪問入浴部会、通所介護・通所リハビリ部会）合同研修会
開催日	平成28年7月22日（金）
開催場所	ゆうあいの里 ふれあいセンター
内容	講義及び実技「楽ワザ介護術」
参加者数	60名
②研修名	薬剤師会・介護保険関係事業者連絡協議会 全体研修会
開催日	平成28年8月20日（土）
開催場所	豊川市民プラザ
内容	薬の管理や残薬問題についての講演 各職種による座談会形式の意見交換会
参加者数	106名
③研修名	歯科医師会・介護保険関係事業者連絡協議会「口腔ケア講習会 （実習付き）」
開催日	平成28年11月17日（木）
開催場所	歯科医療センター
内容	講義「介護職向け口腔ケア」 歯科衛生士による実践研修
参加者数	52名



# 実技「楽ワザ介護術」





# 実技「口腔ケア」

2016 11 17



# 1 医療・介護連携に関する取組み

## (1) 研修・広報・普及啓発の取組み ※特徴的な事業を抜粋

### ① 提案募集型研修の実施

#### 【今後の取組み・課題・感想等】

- ・ **待つだけでなく、進展させたい事柄に対し、各関係団体に働きかけ、さらなる活性化を目指していく（提案型研修を提案していく）**
- ・ **参加者の「動機づけ」ができている、意欲が高い状態での研修実施はとても気持ちが良い**
- ・ **アンケート結果についても、いわゆる「大人の回答、お付き合いの回答」ではなく、思いのこもったものが多いように感じる**

# 【研修番外編】

# こんな研修もやりました。

## ○職員向け研修

1) 日時：平成26年9月11日（木）15時～16時30分

場所：本庁会議室

テーマ：「超」高齢社会

地域を支える必要不可欠な視点とは

～在宅医療・介護の連携、包括ケアシステムの事例から～

講師：東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授 辻 哲夫 氏

研修対象者：市職員 参加者数：93名

高齢化問題は、  
様々な政策分野で  
考える必要あり!!

市人事課との協働にて開催した研修。  
人事課に対し、高齢化問題は様々な政策分野で考えなければならない旨、熱くプレゼンしたところ、職員研修として開催することが可能となった。

同様に、講師へも熱くプレゼンさせていただき、「市をあげて取り組まれる姿勢に心打たれた」と快諾いただくことができました。

平成26年度 ひと・まちパワーアップセミナー

「超」高齢社会  
地域を支える必要不可欠な視点とは  
～在宅医療・介護の連携、地域包括ケアシステムの事例から～



- ◆ 日時  
平成26年9月11日（木）  
15:00～16:30
- ◆ 場所  
豊川市役所本31会議室
- ◆ 講師  
辻 哲夫 氏  
東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授  
(元厚生労働事務次官)

### 講師紹介

1971年東京大学法学部卒業後、厚生省（当時）に入省。老人福祉課長、国民健康保険課長、大臣官房参事官（医療政策、健康政策担当）、官房長、保険局長、厚生労働事務次官を経て、2008年4月から田舎町市立大学 教授、2009年4月から東京大学高齢社会総合研究機構 教授を務める。

現在、東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授、厚生労働省在任中に医療制度改革に関わった。著書として、「日本の医療制度改革がゆがむもの」（時事通信社）等がある。

### 講師から一言

みなさんは、日本の高齢化のスピードをご存知でしょうか。我が国は世界でも類をみない驚異的なスピードで『超』高齢社会に突入しています。この危機がいつまで経っても変わらない社会構造の変化にしっかりと対応するために必要不可欠な視点とは何か、みなさん、私と一緒に考えましょう。



# 1 医療・介護連携に関する取組み

(1) 研修・広報・普及啓発の取組み ※特徴的な事業を抜粋

## ② 市民フォーラムの実施

【本取組みの狙い・留意点など】

- ・ 市民に「伝える」ではなく、「伝わる」ことを重視
- ・ 準備段階からの多職種連携
- ・ 集客で悩むことを少なくしたい（動員はかけたくない）

# 【実績】

## H27年度

開催日：平成27年11月15日（日）14：30～

場 所：豊川市文化会館 中ホール

内 容：①演劇「自分らしく生きる」

市内の多職種による在宅医療・介護の現場を演劇という手法で説明

②有識者意見交換「地域包括ケアって何？教えて！先生！」

コーディネーター：山本なおみ

有識者：国立長寿医療研究センター 三浦久幸 氏

豊川市医師会長 大石明宣 氏

参加者：321名

## H28年度

開催日：平成28年9月29日（木）13：30～15：30

場 所：御津文化会館（ハートフルホール）文化ホール

内 容：①創作落語「天国からの手紙」とエンディングノートの話

生島清身/天神亨きよ美氏（行政書士・社会人落語家）

②パネルディスカッション～様々な立場から語る在宅看取りの実際～

パネラー 生島清身氏 佐宗みど里氏（訪問看護師）

在宅看取り経験者（一般の方）

ナビゲーター 山本なおみ氏

参加者：369名

**H27年度は、市内のボランティア団体（子どもミュージカル）とも協働し、**

**H28年度は、市内で在宅看取りを経験された一般の方にも協力いただいた。**

⇒ **集客への影響も。**



【演劇】

「自分らしく生きる」

Youtube 公開中

検索してみてください。







**創作落語「天国からの手紙」**

2016 09 29

# 人生の終わり方とは

## 豊川フォーラムで考える

「人生の終わりを考へ」市の御津文化会館であ  
えるフォーラム「豊川」で、来場者が人生の最  
川」が二十九日、豊川 期をどう迎えるかにつ



在宅で家族をみとった体験などを語  
る参加者。豊川市の御津文化会館で

いて学ん  
だ。

東京都の  
行政書士で  
社会人落

語家の生島  
清身さんが  
創作落語

「天国から  
の手紙」を  
公演。遺言

書を残し忘  
れた女性  
が、天国の  
案内人の指

導で遺言を残すまでを  
コミカルに表現した。

生島さんは「遺言と  
ともに、家族らへの思

いを言葉に残しておく  
ことも大切。エンディ  
ングノートは、人生の  
ゴールを含めてこれか  
らの人生をどう生きて

いきたいかを考えなが  
ら書いてほしい」と呼  
び掛けた。

参加者は、経験から  
学んだことなどを披  
露。在宅で家族をみと

った男性は「同じよう  
に親を在宅でみとった  
知人から「親に百分の

一も恩返ししていな  
い」と聞き、周囲の支  
えもあって心折れず  
にしていることができた」

# 「人生の終末」考える

## 在宅看取りの体験者ら討論

豊川でフォーラム

豊川市は29日、御津町の御津文化会館で、市在宅医療・介護連携協議会との共催事業「人生の終  
わりを考えるフォーラムin豊川」を開催した。東京在住の行政書士・生島清身さんによる創作落  
語や、在宅看取りの体験者らによるパネルディスカッションで、来場者約400人が終末期の過  
し方について考えた。



上村昌也氏

佐宗みどり氏

生島清身氏

「天神さまよ美」

の名で社会人落語家  
としても活動する生  
島さんは、高座、天  
国からの手紙」とい  
う落語を披露。母の  
死後、遺産相続など  
で揺れるある家族の  
話を、ユーモアを交  
えて語った。

この日来場者に配  
られ、自身も講演活  
動で活用を推進する  
エンディングノート  
についても紹介。認  
知症などになった  
際、代わりに家族ら  
に意思を伝えられる  
貴重なツールを「死

看取りについて意  
見を語る（左から）  
生島さん、佐宗さ  
ん、上村さん。御  
津文化会館で

(本木裕貴)

準備ではなく、ど  
のように生き切るか  
という視点で使って  
ほしい。残りの人生  
を笑顔で過ごしても  
らうためのノート」  
と強調した。

パネルディスカッ  
ションでは、生島さ  
んと、6月に病気の  
父を自宅で看取った  
上村昌也さん、訪問  
看護師の種田訪問  
看護ステーション所  
長・佐宗みどりさん  
が、それぞれの立場  
で意見を発表した。

中、父の気持ちも尊  
重して在宅看取りの  
道を選んだ上村さ  
ん。約40日間の自宅  
での介護は過酷たっ  
たが、同様に肉親を  
介護する知人が、排

# 「オアシズ」ら ふるさと大使

と話した。  
(吉田幸雄)

田原士  
や知名  
るんが  
お笑い

# フォーラム終了後の新聞記事

新城市は29日、2  
016年度  
功労者、市政功労者、  
市教育委員会表彰者  
を発表した。功労者  
は岩間肥後守忠賞  
(たたり)の功を  
奮闘した社会福祉法  
人名誉会長・南川一  
朗さん(79)・豊橋市

# 1 医療・介護連携に関する取組み

## (1) 研修・広報・普及啓発の取組み ※特徴的な事業を抜粋

### ② 市民フォーラムの実施

#### 【今後の取組み・課題・感想等】

- ・引き続き、参加者満足度の高く、「伝わる」ものとなるよう意識していく
  - ・これまでのアプローチから、集客の悩みへの一つの答えを導き出すことができたように感じている
- ⇒ 動員をかけるような事態を避けるためには、**他部署との協働、関係機関との協働、地域との協働をしっかりと！**
- 決して、市（事務局）だけで進めないこと！**



# 1 医療・介護連携に関する取組み

(1) 研修・広報・普及啓発の取組み ※特徴的な事業を抜粋

## ③ 戦略的普及啓発

【本取組みの狙い・留意点など】

・ **せつかく実施する取組みを**

**もっと効果的にしたい**

# こんな戦略で攻めました ①

## ○一連の流れを作っていく

研修や広報活動も単に事業を行うのではなく、次にどんな戦略でいくのかを考え、

- ・どこを先に仕掛けていくか
- ・どんな波及を期待するのか

波及する効果を念頭に、次に期待する事柄を繋げて計画実施する。その繋がりがあれば効果も倍増、様々な場面でも影響を与えられる。

役所職員にも一般住民にも立派な人材育成になり得る。

**タイミングを逃せば、大きな効果は見込めない！**

- ・関係従事者の意識向上
- ・関係機関との関係づくり
- ・同職場内の波及効果

- ・超高齢社会の問題意識up
- ・他課職場内の波及効果up
- ・高齢社会対策の視点と施策化

- ・役所職員が話題にし、地域の宣伝マンになる
- ・住民の興味・意識が少し向上

- ・関係者の口コミで収容効果
- ・地域住民間同士での話題
- ・地域住民内での波及効果

## 事業実施の戦略（1年目）

7月多職種人材研修で  
関係従事者に種まき



9月市職員向け研修で  
身近な内部に種まき



11月広報特集号発行  
で広く市民に啓発



市民向けシンポジウム、  
出前講座で  
関心の高い市民に啓発

# こんな戦略で攻めました ②

## ○一連の流れを作っていく

研修や広報活動も単に事業を行うのではなく、次にどんな戦略でいくのかを考え、

- ・なにを先に仕掛けていくか
- ・どこに仕掛けていくか
- ・どんな波及を期待するのか

波及する効果を念頭に、次に期待する事柄を繋げて計画実施する。その繋がりがあれば効果も倍増、様々な場面でも影響を与えられる。

**タイミングを逃せば、大きな効果は見込めない！**

市民・関係者の関心の高いところに種まき。（エンディングノート無償配布）  
☆マスコミ・関係者の口コミで配布効果UP

エンディングノート配布とともにフォーラム周知。  
☆フォーラムへの興味・関心効果UP

概論を聞き、より具体的に知りたい、家族・友達にも教えたい  
☆家族・地域住民間での話題  
☆口コミで集客効果UP

覚えた知識を他人にも教えたい  
☆地域住民間での話題  
☆地域住民内での波及効果

事業実施の戦略（3年目）

エンディングノートの配布・啓発



人生の終わりを考えるフォーラムIn豊川の開催



市民向け終活講座の開催



# 1 医療・介護連携に関する取組み

## (1) 研修・広報・普及啓発の取組み ※特徴的な事業を抜粋

### ③ 戦略的普及啓発

#### 【今後の取組み・課題・感想等】

- ・普及啓発に関しては、特に、“一粒で二度おいしいやり方”を追及していく  
⇒ **キーワードは、政策間連携・地域連携**
- ・他部署の関連事業とコラボすることで、互いの実績とすることができ、クオリティも上がり、なおかつ、集客にも困らなくなる  
(これは、地域の企業や団体などとの連携においても同様)

# 【政策間連携】 図書館コラボ展示



「認知症を知る」展示



「地域包括ケアってなに?」展示

# 1 医療・介護連携に関する取組み

(1) 研修・広報・普及啓発の取組み ※特徴的な事業を抜粋

## ④ 各種普及啓発及び啓発物の作成

【本取組みの狙い・留意点など】

- ・ 切り口はさまざま、あらゆるジャンルを網羅したい
- ・ 普及啓発にあたっての武器がたくさんほしい







**出前講座の様子**

いま、  
知っておきたい



# 「在宅医療」

地域で学んでみませんか？

- ☆ 老人クラブや町内会の集まりで勉強したい・・・
- ☆ 敬老会行事で趣向を変えて・・・
- ☆ 市民館まつりの1コマに・・・
- ☆ PTA など、団体での学習に・・・

豊川市内で、みなさまが集まる機会があれば、いつでも、どこでも可能な限りお伺いいたします。クイズやDVDの上映などを交えながら、みなさまと「楽しく学ぶ」ことに努めます。

講座の時間は45分程度ですが、ご事情にあわせて相談に応じますので、気軽にお電話ください。

在宅医療とは、さまざまな事情により通院が困難となった際に、医師を始めとする医療従事者が、訪問診療や訪問介護等により、自宅や有料老人ホームなどで医療を行うものです。

【申込み・お問い合わせ先】

豊川市介護保険課（在宅医療推進センター）【担当：松山】  
住所  
電話

## 出前講座チラシ



# 地域包括ケアが これからの医療や介護を 支えています!

地域包括ケア（地域包括ケアシステム）は、高齢者ができるかぎり  
住み慣れた地域や家庭で自分らしい暮らしを続けることができるように、  
市と地域の医療、介護、福祉などが連携して、  
必要とされるサービスを一体となって切れ目なく提供していく取り組みです。

## 医療環境の整備・充実

地域のかかりつけ医を中心とした24時間体制の在宅医療、訪問看護、訪問リハビリテーションなどの環境を整備し、介護分野や福祉分野との連携も充実させていきます。



## 介護保険サービスの充実・強化

認知症対応型共同生活介護、看護小規模多機能型居宅介護などの「地域密着型サービス」を整備し、よりきめ細かく総合的に支援されるよう強化します。



## 地域包括ケア

地域包括ケアとは、地域の特性やニーズに応じて、「医療」「介護」「生活支援」「介護予防」「住まい」の5つを柱として、高齢者の生活を一体的、継続的に支えていくものであり、日常生活圏（高齢者相談センター設置地区）でのサービス提供を想定しています。



市 高齢者相談センター (地域包括支援センター)  
社会福祉協議会

高齢者相談センター（地域包括支援センター）は、市と協力しながら、地域の高齢者が抱えるさまざまな問題などを発見・整理し、医療機関、介護サービス事業者、地域住民や民生委員などと連携して支援を行う地域包括ケアの調整役です。

## 生活支援サービスの確保・権利擁護

ひとり暮らしや認知症の高齢者の増加に対応するために、さまざまな生活支援サービスや、財産管理など権利擁護の支援を行います。



## 介護予防の推進

運動・栄養・口腔機能などをテーマにした介護予防教室や、老人クラブ、地域のボランティア活動などを通じて介護予防を推進します。



## 高齢者の住まいの対策

自宅のバリアフリー化や、サービス付き高齢者向け住宅など、高齢者のニーズに応じた生活環境の整備を支援します。



# 地域包括ケアパンフレット





# エンディングノート

## 財産について

自分の財産状況について整理しておくことは大切です。今、どのような資産を所有しているか確認してみましょう。



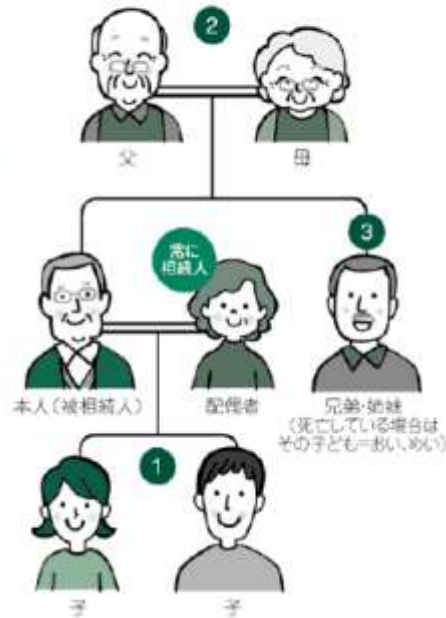
## 相続について

### 相続人(法定相続人)

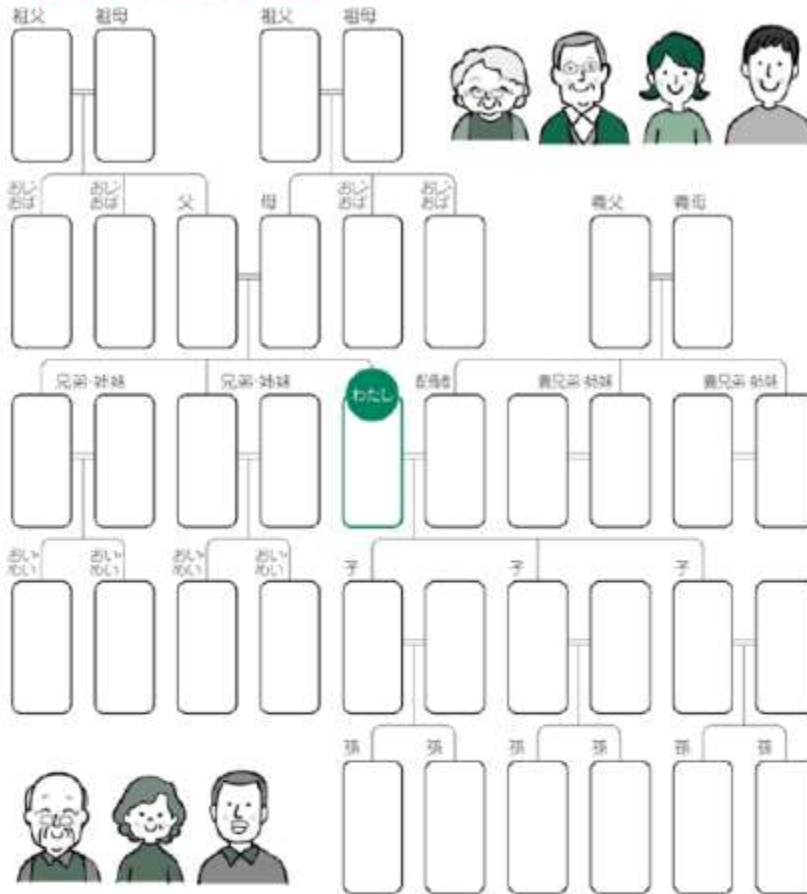
遺産相続の最優先は配偶者です

相続人とは、遺産を受け取る可能性がある範囲の人のことです。相続人にはそれぞれ遺産を受け取る順位が決まっています。だれが相続人になるかについては、死亡した方の配偶者は、常に相続人となり、配偶者以外の方は、近い関係の方から右図の順番で、配偶者と一緒に相続人になります。

下位の相続人は遺言がない限り、上位者より優先して相続が行われることはありません。



## わたしの家系図



### ●家族についての思い出(両親・配偶者・子どもなど)


# 1 医療・介護連携に関する取組み

(1) 研修・広報・普及啓発の取組み ※特徴的な事業を抜粋

## ④ 各種普及啓発及び啓発物の作成

【今後の取組み・課題・感想等】

- ・ **一度やって終わり、作って終わりとししない**
- ・ 常に見直しを念頭に
- ・ 啓発物についても、戦略的に活用していく
- ・ エンディングノートの反響の大きさに驚いた



# 1 医療・介護連携に関する取組み

## (2) ICT利活用推進の取組み ※特徴的な事業を抜粋

- ① 電子@連絡帳関係説明会・研修会の実施
- ② 啓発リーフレットの作成

# 1 医療・介護連携に関する取組み

## (2) ICT利活用推進の取組み ※特徴的な事業を抜粋

### ① 電子@連絡帳関係説明会・研修会の実施

#### 【本取組みの狙い・留意点など】

- ・ 電子@連絡帳の新規登録事業者（施設等）を増やしたい
  - ・ 施設内の登録スタッフ数を増やしたい
- **利用者を増やして、利便性を向上させたい！**

## 電子@連絡帳の活用状況

年 度	H26	H27	H28
患者登録数（年度末時点）	70	285	888
前年度との比較（増加率）	—	407.1%	311.6%

(H28.2現在)

## 電子@連絡帳関係説明会等開催状況

事業名	実施期間	回数	参加実人数
電子@連絡帳説明会	H26年5月～6月	5	164
電子@連絡帳デモ操作研修会	H27年9月～12月	4	50
電子@連絡帳出前講座	H28年3月～	21	118
電子@連絡帳説明会（施設管理者向け）	H28年8月	3	64

(H28.2現在)





## 電子@連絡帳システム説明会



## 電子@連絡帳デモ操作研修

「電子@連絡帳」成果と課題

まだ始まったばかり

有用性とセキュリティ安全性伝え登録勧める
普及進めればもつとつまく連携

東三河の各市が利用している「電子@連絡帳」...

成果はチームの結束力強化...



電子@連絡帳のデモ画像

チームの結束力強化／2重入力が手間

科医師会、豊橋市医師会... 今後登録数を増やすため...

電子@連絡帳に関する新聞記事

# 1 医療・介護連携に関する取組み

## (2) ICT利活用推進の取組み ※特徴的な事業を抜粋

### ① 電子@連絡帳関係説明会・研修会の実施

#### 【今後の取組み・課題・感想等】

- ・年々患者登録数が増え、県内での利活用状況比較でもかなり上位となっている
- ・今では**連絡や連携に欠かせないもの**となっている
- ・画面処理のスピードが遅く、さらなる普及啓発の妨げとなっている。



# 1 医療・介護連携に関する取組み

## (2) ICT利活用推進の取組み ※特徴的な事業を抜粋

### ② 啓発リーフレットの作成

#### 【本取組みの狙い・留意点など】

- ・ 電子@連絡帳について、広く市民に周知したい
- ・ 関係多職種が患者の同意を得る際に使える資料がほしい

## ① 東三河ほいっぶネットワークとは

東三河ほいっぶネットワークとは、豊橋市、豊川市、蒲郡市、田原市、新城市、北設楽郡にお住まいの方のうち、在宅医療や介護サービスを受けられている方について、プライバシー保護を厳重に図りながら、診療情報や支援経過など必要な情報の一部を電子@連絡帳というツールを用いて情報共有することにより、質の高い安全な医療や介護サービスの提供を可能とするネットワークのことです。

## ② 電子@連絡帳について

電子@連絡帳は、医療・福祉・介護等の在宅医療に関わる専門多職種\*等の連携を推進するための情報共有ツールで、豊川市では、平成26年10月1日から運用を開始しています。

本市では、住み慣れた自宅等において、在宅医療や介護を希望する多くの方に、これまで以上の安心を得ていただけるよう、効果的・効率的な情報共有により専門多職種がしっかりと連携できる電子@連絡帳の普及に努めています。

\*多職種＝医師・歯科医師・薬剤師・看護師・ケアマネジャー（介護支援専門員）などの医療や介護事業者の総称です。



ご自身に  
"実際に関わっている"  
専門多職種が  
必要な情報を共有・連携

質の高い安全な  
医療や介護サービス  
提供

# 啓発リーフレット

## ③ 電子@連絡帳でできること

電子@連絡帳は、患者さんに関係する専門多職種のメンバーがチームになり、治療やケアの情報を共有するものです。在宅医療・介護の現場では、治療管理がなされる入院等と異なり、普段と違う症状がある場合や、服薬管理ができていないような状況があった際に、気づくのが遅れてしまうようなことがあります。電子@連絡帳は、専門多職種が行った処置等の記事投稿のほか、緊急メール送信、画像の添付等をチーム内で行うことができるため、そのような異変に迅速な対応が可能となります。



## ④ 電子@連絡帳を利用したい場合は

ご自身に実際に関わっている専門多職種に、電子@連絡帳を利用した情報共有をしてほしい場合は、身近な専門職（かかりつけ医やケアマネジャー）にご相談ください。

※主に要介護認定を受けている方などが、電子@連絡帳を用いた情報共有の対象者となります。

なお、東三河ほいっぶネットワーク（電子@連絡帳）の参加施設には、窓口など皆様からよく見える場所に、参加施設と分かる卓上掲示（右写真）がされています。



参加施設の卓上掲示

## ⑤ 利用にあたっての留意点

電子@連絡帳を用いて専門多職種が情報共有する場合は、必ず、患者さん（家族等）の同意を必要としていますので、同意なく電子@連絡帳を用いた情報共有が始まることはありません。また、一度は同意のうえ、電子@連絡帳を用いた専門多職種による情報共有が開始されても、途中でこれをやめたい場合は、いつでもやめることができます。

なお、電子@連絡帳の利用について、患者さん（家族等）側からの積極的な利用の意思がない場合でも、在宅で受けられている方など、チームでの支援が必要と考えられる場合には、医師・看護師・薬剤師・ケアマネジャー等の専門多職種側から患者さん（家族等）に対し、同意を得たい旨の説明をさせていただくことがあります。

# 1 医療・介護連携に関する取組み

## (2) ICT利活用推進の取組み ※特徴的な事業を抜粋

### ② 啓発リーフレットの作成

#### 【今後の取組み・課題・感想等】

- ・ 分かりやすく、患者説明にも使えると高評をいただいた
- ・ 患者登録数増加のひとつの要因となった
- ・ 引き続き、活用について関係多職種へ周知していく

# 1 医療・介護連携に関する取組み

## (3) 支援体制構築の取組み ※特徴的な事業を抜粋

- ① 介護施設共通健康診断書の作成
- ② 医療機関連携情報シート集（医科・歯科）の作成
- ③ 在宅高齢者訪問歯科（歯周病）健康診査の実施
- ④ 多職種連携の手引きの作成
- ⑤ 実証実験（訪問歯科・薬科）の実施
- ⑥ 評価指標調査の実施



# 1 医療・介護連携に関する取組み


## (3) 支援体制構築の取組み ※特徴的な事業を抜粋

### ① 介護施設共通健康診断書の作成

#### 【本取組みの狙い・留意点など】

- ・ 患者（サービス利用者）の経済的負担を減らしたい
- ・ 医師の負担を減らしたい

介護施設共通健康診断書 (豊川市医師会) (個人情報取扱注意)

ふりがな ①氏名	②性別	③生年月日	年 月 日生 歳
④住所	電話( ) - ( )		
⑤現在の病名 <small>*介護サービス提供上重要なものから順に記入して下さい。</small>	1	発症日	年 月 日 <input type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定
	2	発症日	年 月 日 <input type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定
	3	発症日	年 月 日 <input type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定
	4	発症日	年 月 日 <input type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定
	5	発症日	年 月 日 <input type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定
⑥主な既往歴	胸部X線検査  コメント  <input type="checkbox"/> 異常なし ( 年 月 日実施) <input type="checkbox"/> 実施不能		
⑦病状及び経過	血圧 / mmHg 脈拍 分 <input type="checkbox"/> 整 <input type="checkbox"/> 不整		
⑧使用中の薬剤 <small>*用法、用量を記入して下さい</small>			
⑨実施中の処置	<input type="checkbox"/> 留置カテーテル <input type="checkbox"/> 褥瘡処置 <input type="checkbox"/> 経管栄養 <input type="checkbox"/> 中心静脈栄養 <input type="checkbox"/> 人工肛門 <input type="checkbox"/> 吸引 <input type="checkbox"/> 透析 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> インシュリン注射 <input type="checkbox"/> 酸素療法 <input type="checkbox"/> 気管切開 <input type="checkbox"/> 胃瘻 <input type="checkbox"/> その他( )		
特記事項: (感染症等)			
障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度): <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> J1 <input type="checkbox"/> J2 <input type="checkbox"/> A1 <input type="checkbox"/> A2 <input type="checkbox"/> B1 <input type="checkbox"/> B2 <input type="checkbox"/> C1 <input type="checkbox"/> C2			
認知症高齢者の日常生活自立度: <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> IIa <input type="checkbox"/> IIb <input type="checkbox"/> IIIa <input type="checkbox"/> IIIb <input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> M 問題行動:			
上記の通り診断する。平成 年 月 日 <input type="checkbox"/> 下記条件に従い複写することに同意する。 <input type="checkbox"/> この診断書を複写することに同意しない。 (いづれかにチェックを入れてください。病状が不安定または複写が不適切な場合には"同意しない"にチェックしてください)			
医療機関名	医師名	印	
所在地	電話( ) - ( )	FAX( ) - ( )	
記載上のお願ひ: 1. 介護サービス利用、施設入所の際、この診断書の内容だけでは不十分な場合があるので、必要に応じて血液検査や画像診断の結果等を添付してください。2. この診断書の使用期限は診断日から1年間です。(記載日の患者の状態を1年間保証するものではありません。)			
◎複写の条件: 1. 使用期限(上記診断日から1年以内)内に限る。2. 複写が出来る者は、本人及び本人から文書で委託を受けた介護支援専門員のみです。 3. 上記「複写することに同意する」欄に記載医師がチェックしていること。			
複写実施者名	印	実施日	年 月 日
	診断書記載医師同意確認日		年 月 日
注意点 ①この診断書を複写する場合は、必ずその都度診断書記載医師に連絡し、同意を得て下さい。②上記同意欄にチェックが無い場合はもちろん、複写にあたって連絡した際に診断書記載医師が複写に同意しない場合は、絶対に複写しないで下さい。③複写は必ず原本から行い、複写したものを各々に日付と実施者の氏名を記入し、捺印して下さい。			

## 介護施設共通健康診断書

使用のルールとともに、  
東三河ほいっぷネットワーク豊川市の  
ポータルサイト中、「各種様式・資料等」  
からダウンロードできます

「ほいっぷ 豊川市」で検索♪

# 1 医療・介護連携に関する取組み

## (3) 支援体制構築の取組み ※特徴的な事業を抜粋

### ① 介護施設共通健康診断書の作成

#### 【今後の取組み・課題・感想等】

- ・ **実際の利用等について情報収集を行う**とともに、引き続き、書式についての普及啓発を行っていくことが必要
- ・ 現在、**電子@連絡帳の標準書式として搭載できるよう準備を進めているが、**早期に電子@連絡帳への書式搭載を完了し、情報共有していきたい

# 1 医療・介護連携に関する取組み

## (3) 支援体制構築の取組み ※特徴的な事業を抜粋

### ② 医療機関連携情報シート集（医科・歯科）の作成

#### 【本取組みの狙い・留意点など】

- ・ 主に、ケアマネジャーの不安を和らげたい（負担を減らしたい）
- ・ 医療機関の基本情報を集約する
- ・ 医療機関との調整方法や担当者などを集約する
- ・ 相談タイム（いわゆるケアマネタイム）を集約する



## 1 はじめに

「医療機関連携情報シート集」は、医療・介護に携わる皆様の連携を推進するため、豊川市医師会が実施した在宅医療に関するアンケート（平成 27 年 9 月）の結果をもとに、医療機関ごとに連携情報シートとしてまとめたものです。

是非、ご活用ください。

## 2 医療機関連携情報シートの見方

医療機関名			日常生活圏域		
			中学校区		
所 在	〒	TEL			
		FAX			
		E-mail			
在宅医療の取組み	在宅療養支援診療所		届出あり	届出なし	
	訪問診療の実施		している	していない	
	往診の実施		している	していない	
医療用麻薬施用者免許			あり	なし	
認知症の取組み	診察		診察する	診察しない	
			条件付で診察する (条件: )		
	後見制度書類作成		診断書を作成する	診断書を作成しない	
			診断書・鑑定書どちらも作成する		
		条件付で作成する (条件: )			
連携情報欄	面談調整方法	方法			
		連絡先			
	面談調整担当者 (優先順位)	1 職名		氏名	
		2 職名		氏名	
相談主旨の事前情報提供	手段	必要	不要		
多職種連携	相談タイム (TEL・面談可能な時間) ※原則となります。 (対応できない場合もあります)		午前	午後	
		月	: ~ : :	: ~ :	
		火	: ~ : :	: ~ :	
		水	: ~ : :	: ~ :	
		木	: ~ : :	: ~ :	
		金	: ~ : :	: ~ :	
		土	: ~ : :	: ~ :	
面談以外の問い合わせ方法		TEL	FAX		
		電子@連絡欄	E-mail		
		その他 ( )			
問い合わせや面談についての必要事項					

### 基本情報欄①

医療機関名・所在など、公表されている基本情報について掲載しています。

### 基本情報欄②

在宅医療の取組みや認知症の取組み等について記載しています。

認知症の診察については、認知症そのものの診察ではなく、認知症の疑いがある患者が受診した際、診察をするかしないかという意味です。

### 連携情報欄

※ 1 面談を希望する方が医療機関に連絡をする際、どのような方法で、どなたと面談の調整を行うことが好ましいかについて記載しています。

※ 2 TEL・面談など、医療機関への連絡は、なるべくこの時間帯に行うことが好ましく、この時間帯であれば、医療機関側も極力対応できるよう配慮するという時間帯について記載しています。

※ 3 面談以外の方法により、医療機関に問い合わせたい場合に、どのような方法があるのかを記載しています。

●自由回答やその他については、基本的にアンケートの回答をそのまま表記しています。

●記載内容に誤り、追記、修正等がある場合は、随時ご連絡ください。

# 1 医療・介護連携に関する取組み

## (3) 支援体制構築の取組み ※特徴的な事業を抜粋

### ② 医療機関連携情報シート集（医科・歯科）の作成

#### 【今後の取組み・課題・感想等】

- ・ シート集に記載してある内容が、常に最新のものとなるようにする
- ・ シート集自体の普及啓発がまだまだ不足している
- ・ 普及啓発にあたっては、相談タイム（いわゆるケアマネタイム）について、義務付け感がでないように留意する

# 1 医療・介護連携に関する取組み

## (3) 支援体制構築の取組み ※特徴的な事業を抜粋

### ③ 在宅高齢者訪問歯科（歯周病）健康診査の実施

#### 【本取組みの狙い・留意点など】

- ・ 訪問歯科診療を実施する歯科医療機関を増やしたい（きっかけを作りたい）
- ・ 口腔機能の管理が受けられる体制・環境の整備
- ・ ケアマネ・家族等介護関係者の意識向上



対象者：歯周病健診対象者（節目年齢）のうち、  
70歳、要介護4・5（介護保険要介護  
認定）の方で、訪問による歯周病健診を  
希望する方

費用：無料

【歯周病健診費用：保健センター】

【在宅訪問諸経費：在宅医療連携推進センター】

70歳で要介護4～5の方へ

## 在宅高齢者訪問歯科（歯周病） 健康診査のご案内

豊川市では、今年度から、70歳で歯科医院への通院が困難な、寝たきり等の高齢者の方を対象に、訪問歯科（歯周病）健康診査を実施します。

口の中を清潔に保つことは、全身の健康を管理するうえでも大切です。また、誤えん性肺炎の予防にもつながります。ぜひ、ご相談ください。

### 対象者

- 70歳（昭和20年4月2日生～昭和21年4月1日生）
- 要介護4～5（介護保険要介護認定）

### 内容

- ご自宅に歯科医が訪問して、歯科（歯周病）健康診査を行います。  
（健康診査の内容については、個別郵送される「70歳歯周病健診のお知らせ」をご参照ください）

### 申込必要書類

- 申込書（本チラシ裏表紙切り取り）
- 介護保険被保険者証（提示または写しの添付）
- 歯周病健診無料受診券（※健康診査実施当日）

### 費用

- 無料

### 実施期間

- 平成28年5月2日～平成29年2月13日



# 1 医療・介護連携に関する取組み

## (3) 支援体制構築の取組み ※特徴的な事業を抜粋

### ③ 在宅高齢者訪問歯科（歯周病）健康診査の実施

#### 【今後の取組み・課題・感想等】

- ・保健センターで実施している歯周病健康診査の対象者が少ない
- ・既に口腔機能の管理がされている方が思っていたより多かった
- ・在宅支援の一助となるシステムが創設できたので、モデル事業担当課から健診担当課へ引継ぎ、継続実施する
- ・要介護者及び関係者への啓発を行い、要介護者の口腔機能低下を防いでいく

# 1 医療・介護連携に関する取組み

## (3) 支援体制構築の取組み ※特徴的な事業を抜粋

### ④ 多職種連携の手引きの作成

#### 【本取組みの狙い・留意点など】

- ・ 多職種連携のシステムやルールを**可視化**したい
- ・ 連携に必要な帳票類等を整備したい
- ・ 新たにできてくるルールや書式などを**集約できる場所**としたい



## 【掲載内容】

- ・ 在宅療養に必要な多職種連携のルール
- ・ ICTツールの活用による連携
- ・ 研修・講演会等を通じた連携
- ・ 在宅医療・介護の連携ルールに関するQ&A
- ・ 各種様式・資料等

## 在宅医療・介護 多職種連携の手引き



平成29年3月

豊川市在宅医療・介護連携協議会

# 1 医療・介護連携に関する取組み

## (3) 支援体制構築の取組み ※特徴的な事業を抜粋

### ④ 多職種連携の手引きの作成

#### 【今後の取組み・課題・感想等】

- ・ **多職種連携のルールに関する「プラットフォーム」**として活用していく
- ・ 今後も関係多職種の意見に耳を傾け、各種会議や団体内・団体間での調整の結果導き出されたルールや書式等を集約し、**使い勝手のよさを追求**していく

# 1 医療・介護連携に関する取組み

## (3) 支援体制構築の取組み ※特徴的な事業を抜粋

### ⑤ 実証実験（訪問歯科・薬科）の実施

#### 【本取組みの狙い・留意点など】

- ・ 訪問歯科診療、訪問歯科衛生指導及び訪問薬剤管理指導を必要とする患者（サービス利用者）がどのくらいいるのか調べたい
- ・ これらのサービスをもっと普及していきたい

けんこう  
**健口チェックシート**

- この健口チェックシートは、歯科医院等へ通院できない方に対し、訪問歯科診療・訪問歯科衛生指導の必要性に迷うような場合の補助材料としてご利用ください。
- 下記の表中、左側の項目ごとに、あてはまる状態又は最も近い状態に○をつけていき、表の上部にあるポイントと照らし合わせ、合計ポイントを計算してください。

ポイント 項目	3	2	1	0
癌	術前	術後 1 年未満	術後 1～5 年	術後 5 年以上 なし
要介護度	要介護 3、4、5	要介護 1、2	要支援 1、2	なし・自立
摂食嚥下 機能低下	頭嚥、肺炎既往あり	嚥下機能低下 (よくむせる)	嚥下機能低下 (たまにむせる)	なし
食事形態	経管栄養・ミキサー食	とろみ・刻み食	柔らかめ	普通食
義歯の問題	義歯なし・合っていない	自分で着脱困難	義歯使用あり	自分の歯
口腔内乾燥	口腔乾燥症あり	乾燥しやすい	少し乾燥する	口腔乾燥なし
生活様式	—	—	独居である	独居ではない

**合計**                      **ポイント**

総合判定

グレードA: 7ポイント以上

歯科医師による訪問診療が強く推奨される。  
口腔内の問題によって摂食の低下があり、重症化が予測される。

グレードB: 4ポイント以上

歯科医師による訪問診療が推奨される。  
口腔内の問題によって生活の質の低下が認められる。

グレードC: 3ポイント以下

歯科衛生士による口腔ケアが推奨される。  
定期的な口腔ケア、摂食リハビリ訓練により全身、口腔状態の維持、改善が見込める。

**歯科のチェックシート**

TEL0533-84-7757 FAX 0533-85-9817

**訪問薬剤管理指導 導入スケール(情報提供書)**

平成    年    月    日

先生御侍史

住所  
施設名  
担当者名  
TEL  
FAX

平素大変お世話になっております。  
下記のサービス利用者において服薬での問題点が発生しており、薬剤師の訪問薬剤管理指導を検討しております。スケール調査は以下の結果になりましたので、ご報告申し上げますと共に、ご意見をよろしくお願い致します。

患者氏名: \_\_\_\_\_ 性別: 男・女 \_\_\_\_\_

患者住所: \_\_\_\_\_

生年月日: 明・大・昭・平    年    月    日(    歳)

**現在の服薬状況・問題点**

--

1	認知症の有無、またはその程度 なし=0点 軽度認知症=1点 中度～高度認知症=2点	0	1	2
2	独居である・更に日常的に介助する親族が近くにいない いいえ=0点 独居のみ=1点 両方当てはまる=2点	0	1	2
3	Drの訪問診療を受けている いいえ=0点 はい=2点	0		2
4	複数の医療機関から定期処方薬剤がある いいえ=0点 2医療機関=1点 3医療機関以上=2点	0	1	2
5	現時点で残薬がたまっている いいえ=0点 2週間分程度の残薬がある=1点 1月分以上の残薬がある=2点	0	1	2
6	体調が安定せず、頻繁に薬剤が変更することがある いいえ=0点 はい=1点	0	1	
7	栄養剤や衛生材料などの重たいものの処方がある いいえ=0点 はい=1点	0	1	
8	終末期医療で麻薬の処方がある いいえ=0点 はい=1点	0	1	
合計				点

**薬科のチェックシート**



# 1 医療・介護連携に関する取組み

## (3) 支援体制構築の取組み ※特徴的な事業を抜粋

### ⑤ 実証実験（訪問歯科・薬科）の実施

#### 【今後の取組み・課題・感想等】

- ・引き続き、実証実験に関わった医療機関・協力事業所間で意見交換を行う
- ・運用ルール及びチェックシート等の修正について検討する
- ・どの項目は常に点数が高い・低いといった偏りなど、実証実験データの  
詳細な分析を行う

# 1 医療・介護連携に関する取組み

## (3) 支援体制構築の取組み ※特徴的な事業を抜粋

### ⑥ 評価指標調査の実施

#### 【本取組みの狙い・留意点など】

- ・ 事業の進展に伴い、各種取組みを行ったことでどのような成果や変化があったのか、客観的な指標等による事業評価が必要
- ・ 調査にあたっては、可能な限り現場の負担を軽くしたい
- ・ 受け取り方によって回答がぶれるような曖昧な表現は避ける

問4 ケアプランを作成した者のうち、次のサービス利用者は、平成27年度何人いましたか。

居宅療養管理指導（医師）人数合計	624 人
回答事業所数	59 事業所
最小値	0 人
最大値	53 人
1事業所あたりの平均人数	10.6 人
居宅療養管理指導（歯科医師）人数合計	21 人
回答事業所数	59 事業所
最小値	0 人
最大値	3 人
1事業所あたりの平均人数	0.4 人
居宅療養管理指導（歯科衛生士）人数合計	17 人
回答事業所数	59 事業所
最小値	0 人
最大値	3 人
1事業所あたりの平均人数	0.3 人
居宅療養管理指導（薬剤師）人数合計	162 人
回答事業所数	59 事業所
最小値	0 人
最大値	23 人
1事業所あたりの平均人数	2.7 人
訪問看護人数合計	571 人
回答事業所数	59 事業所
最小値	0 人
最大値	46 人
1事業所あたりの平均人数	9.7 人
訪問リハビリ人数合計	215 人
回答事業所数	59 事業所
最小値	0 人
最大値	14 人
1事業所あたりの平均人数	3.6 人
居宅療養管理指導（管理栄養士）人数合計	2 人
回答事業所数	59 事業所
最小値	0 人
最大値	2 人
1事業所あたりの平均人数	0.03 人

問5 ケアプランを作成した者のうち、次のサービス利用は、平成27年度何回ありましたか。

居宅療養管理指導（医師）回数合計	9,093 回
回答事業所数	59 事業所
最小値	0 回
最大値	744 回
1事業所あたりの平均回数	154.1 回
居宅療養管理指導（歯科医師）回数合計	119 回
回答事業所数	59 事業所
最小値	0 回
最大値	36 回
1事業所あたりの平均回数	2.0 回
居宅療養管理指導（歯科衛生士）回数合計	243 回
回答事業所数	59 事業所
最小値	0 回
最大値	96 回
1事業所あたりの平均回数	4.1 回
居宅療養管理指導（薬剤師）回数合計	2,528 回
回答事業所数	59 事業所
最小値	0 回
最大値	552 回
1事業所あたりの平均回数	42.8 回
訪問看護回数合計	24,288 回
回答事業所数	59 事業所
最小値	0 回
最大値	8,960 回
1事業所あたりの平均回数	411.7 回
訪問リハビリ回数合計	9,648 回
回答事業所数	59 事業所
最小値	0 回
最大値	1,471 回
1事業所あたりの平均回数	163.5 回
居宅療養管理指導（管理栄養士）回数合計	131 回
回答事業所数	59 事業所
最小値	0 回
最大値	103 回
1事業所あたりの平均回数	2.2 回

# 1 医療・介護連携に関する取組み

## (3) 支援体制構築の取組み ※特徴的な事業を抜粋

### ⑥ 評価指標調査の実施

#### 【今後の取組み・課題・感想等】

- ・ 様々な角度から詳細なデータ分析を行うことにより、次の取組みにつなげていく（PDCAサイクルによる事業のブラッシュアップ）
- ・ 負担の軽減を意識し、また、回答がぶれるような曖昧な表現は避けたつもりであったが、実際に実施してみると、もう少し補足や例示が必要と感じるところもあったため、次回調査に反映していく



# 2 予防に関する取組み

- (1) 市民向け終活講座の開催**
- (2) 介護予防教室の開催**
- (3) 介護予防サポーター養成講座の開催**

# 2 予防に関する取組み

## (1) 市民向け終活講座の開催

### 【本取組みの狙い・留意点など】

- ・「終活」について、市民が具体的に学ぶ機会を作る  
(より良く生きるヒントをお伝えしたい)
- ・今後の人生について立ち止まり、自分の人生を振り返る、整理する機会を作る  
(そのための媒体としてエンディングノートを活用、啓発したい)

# 市民向け終活講座

～自分のために 家族のために～

この講座では、人生の終わりに向けて準備を行う、いわゆる『終活』について、テーマを絞って必要な知識を具体的に学ぶことで、市民の皆様がよりよく生きるヒントを得ることができます。

- ◆ 日 時：平成 28 年 11 月 7 日（月）から 12 月 12 日（月）まで 全 5 回
- ◆ 会 場：豊川市文化会館 大会議室
- ◆ 定 員：60 名（先着順・定員になり次第締切とさせていただきます）
- ◆ 対 象：豊川市内在住で、講座を継続して受講できる方
- ◆ 受講料：無料
- ◆ 申込み：参加を希望される方は、下記の参加申込書により、郵送、FAX、電子メールで事前にお申し込みください。また、電話での申し込みも受け付けいたします。



日程	講座内容	講師
第 1 回 11 月 7 日（月） 13：30～15：00	【在宅医療】 在宅医療・在宅看取りについて必要な知識と準備、 かかりつけ医の重要性、医療と介護の連携について	豊川市医師会 会長 大石明宣 氏
第 2 回 11 月 14 日（月） 13：30～15：00	【在宅介護】 在宅介護・在宅看取りについて必要な知識と準備、 在宅サービスの利用、医療と介護の連携について	豊川市介護保険事業推進協議会 会長 平田節雄 氏
第 3 回 11 月 21 日（月） 13：30～15：00	【成年後見制度・権利擁護】 制度、概要、手続きについて必要な知識と準備、 制度の活用（長所と短所）、日常生活自立支援事業	豊川市成年後見支援センター 柘植仁美 氏
第 4 回 11 月 28 日（月） 13：30～15：00	【遺産・相続と遺言】 相続人について、遺産の分け方、 遺言の種類、書き方、手続き等	名古屋法務局 総務課長 坂上悦子 氏
第 5 回 12 月 12 日（月） 13：30～15：00	【葬儀・お墓】 現代の葬儀・お墓事情について必要な知識と準備、 死ぬということ、死とは何か	イズモ葬祭八幡店 店長 中岡信行 氏

----- 切り取り -----

## 市民向け終活講座 参加申込書

（申込者）

氏 名： \_\_\_\_\_

カナ氏名： \_\_\_\_\_

住 所： \_\_\_\_\_

T E L： \_\_\_\_\_

備 考： \_\_\_\_\_

申込先：豊川市在宅医療連携推進センター  
〒442-0873 豊川市山道町 2 丁目 49  
T E L：0533-89-3179  
F A X：0533-89-8812  
E-mail：zaitaku@city.toyokawa.lg.jp

※定員60名。定員を超える申し込みがあった場合は先着順となります。あらかじめご了承ください。

## 【参加者数】

### 【第 1 回】在宅医療について

81人

### 【第 2 回】在宅介護について

81人

### 【第 3 回】成年後見制度・権利擁護について

64人

### 【第 4 回】遺産・相続と遺言について

79人

### 【第 5 回】葬儀・お墓について

71人



## 終活講座の様子

生きているうちに入棺体験すると、  
長生きするってホントかな！？



## 入棺体験の様子



# 2 予防に関する取組み

## (1) 市民向け終活講座の開催

### 【今後の取組み・課題・感想等】

- ・ 定員60名に対し、各回定員を超える参加となった（募集から1週間で定員オーバーしたため、その後は積極的なPRを控え、申込みは極力受け入れた）市民のみなさんの関心の高さを改めて痛感するとともに、戦略的広報の効果もあったものと思う
- ・ 関心の高いテーマであるため、今後、エンディングノートの活用も絡めて、どのように普及啓発していくか検討していく必要がある

# 2 予防に関する取組み

## (2) 介護予防教室の開催

### 【本取組みの狙い・留意点など】

- ・ 介護予防教室の内容充実と拡充
- ・ 介護予防リーダーやリハビリ職等の人材活用

# 2 予防に関する取組み

## (2) 介護予防教室の開催

事業名	ちから塾フォローアップ教室（介護予防）			脳ちから塾（認知症予防）		
内容	従来から行っている介護予防教室後に、運動の継続を取り入れたフォローアップ教室を開催し、高齢者の意欲の向上と運動の継続や習慣、自主サロン化等に繋がるよう取組む。 毎回、座談と体操の要素を取り入れた教室。			平成24年度から開始した認知症予防教室（くもん式学習療法）に、介護予防リーダーを導入し、体を動かす運動時間を取り入れ、予防の効果をさらに高めるための内容充実を提案。		
年度	H26年度	H27年度	H28年度	H27年度	H28年度	
回数	1クール全12回	2クール全18回	1クール全7回	2クール全40回	1クール全20回	
実績	実人数	41	16	24	28	16
	延人数	211	123	129	502	317

# 2 予防に関する取組み

## (2) 介護予防教室の開催

事業名	マシンなし運動器機能向上教室（委託事業）			マシンあり運動器機能向上教室（委託事業）			
内容	リズム体操やストレッチ、レクリエーション等を用いて、運動器の機能が向上するように集団指導を主体に実施。			マシンを使って運動器の機能が向上するように個別指導を主体に実施。			
年度	H26年度	H27年度	H28年度	H26年度	H27年度	H28年度	
回数	2クール全36回	4クール全72回	8クール全144回	1クール全18回	2クール全36回	2クール36回	
実績	実人数	33	62	132	10	19	13
	延人数	360	875	1,792 (1月末時点)	139	306	184 (1月末時点)